

健康づくりは幸せづくり

Making Health
is making happiness



第57期

株主通信

平成22年4月1日～平成23年3月31日

Contents

株主の皆様へ	P.1
営業の概況(連結)	P.3
研究開発の状況	P.5
研究開発パイプライン	P.6
生産物流の状況/次期の見通し	P.7
株主様ご優待のお知らせ	P.8
第7次中期経営計画	P.9
トピックス	P.10
財務諸表(連結)	P.11
会社情報	P.13
株式情報	P.14
株主メモ	



ゼリア新薬

ZERIA

株主の皆様へ



代表取締役社長
伊部 幸顕



Z・E・R・I・A Five コーポレート・スピリッツ/企業理念

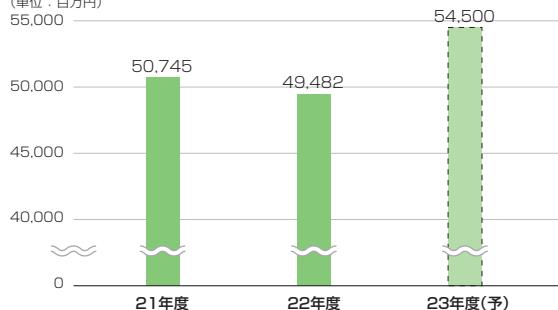
株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、このたびの東日本大震災によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げ、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

第57期の事業概況に関しまして、ここにご報告させていただきます。

売上高

(単位：百万円)



海外売上高／海外売上高比率

(単位：百万円)



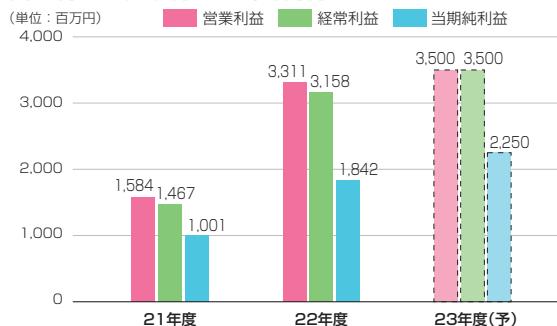
医療用医薬品業界におきましては、昨年4月に薬価改定が行われるとともに、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進などの医療費抑制策が継続して推進され、またOTC医薬品（一般用医薬品）市場におきましても、個人消費の伸び悩みなどから市場競争が激化するなど、ともに厳しい環境下で推移しました。

このような状況の中、当社グループは「企業価値の向上」、「質を求める経営の徹底」を図り、収益性の向上を目指すとともに、当年度を「本格的な海外展開の元年」と位置付け、積極的な展開を図ってまいりました。その一環として、売上・利益に貢献しシナジーが得られるアライアンスやM&Aに積極的に取り組み、前年度のティロッツ・ファーマ社（Tillotts Pharma AG、以下「Tillotts社」）に続き、平成22年9月にはバイオフアック・エスビアウ社（Biofac Esbjerg A/S、以下「Biofac Es社」）の85%の株式を取得し、子会社化いたしました。

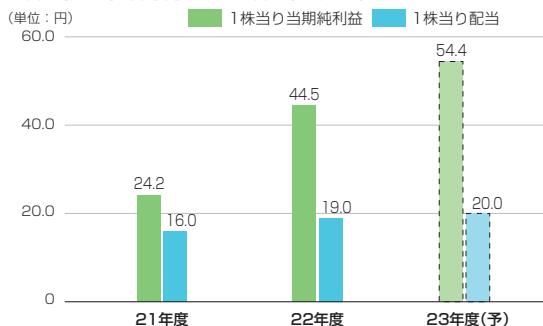
これらの活動の結果、当連結会計年度は、売上高につきましては、商品の一部が仕入先企業と販売先企業の合併に伴う会計処理方法の変更により45億15百万円の減収となったことから、494億82百万円（前期比2.5%減）となったものの、営業利益33億11百万円（前期比109.0%増）、経常利益31億58百万円（前期比115.2%増）、当期純利益18億42百万円（前期比83.9%増）と大幅な増益となりました。

なお、当連結会計年度の海外売上高比率は11.4%で、前年度の2.2%から大きく拡大しております。

営業利益／経常利益／当期純利益



1株当り当期純利益／1株当り配当



営業の概況（連結）

医療用医薬品事業

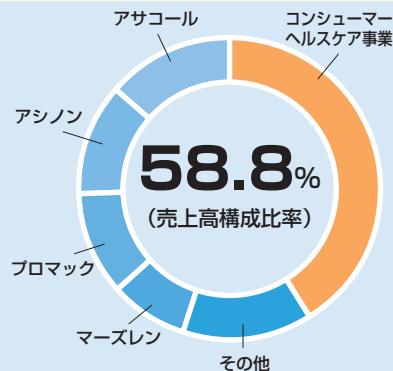
●売上高

289億83百万円

(前期比5.0%減)

●主要製品売上高

アサコール	66.6 億円
アシノン	58.9 億円
プロマック	53.5 億円
マーズレン	41.5 億円



当事業におきましては、プロモーションコードの遵守を基本に、MR（医薬情報担当者）の資質の向上と学術情報活動の一層の充実を図ってまいりました。

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」は、国内において本年1月より長期処方が可能となったことを受け、市場浸透に一層注力するとともに、海外においては、Tillotts社の自販体制の推進などにより営業力強化と市場拡大に努めてまいりました。その結果、「アサコール®」は順調に売上を拡大いたしました。しかしながら、H₂受容体拮抗剤「アシノン®」、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック®」などの製品は、昨年4月の薬価改定の影響を受けて苦戦いたしました。また、前述の通り商品の一部が仕入先企業と販売先企業の合併に伴う会計処理方法の変更により減収となりました。

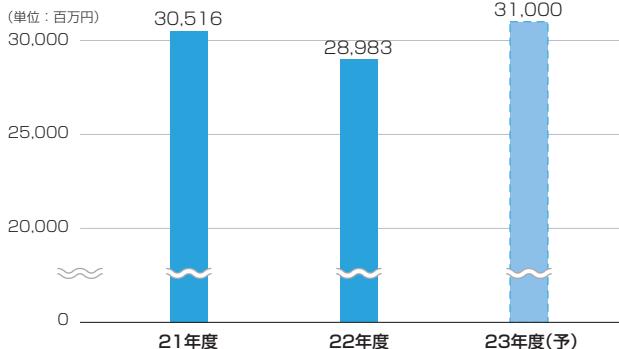
これらの結果、当事業の売上高は、289億83百万円（前期比5.0%減）となりました。

これらの結果、当事業の売上高は、289億83百万円（前期比5.0%減）となりました。

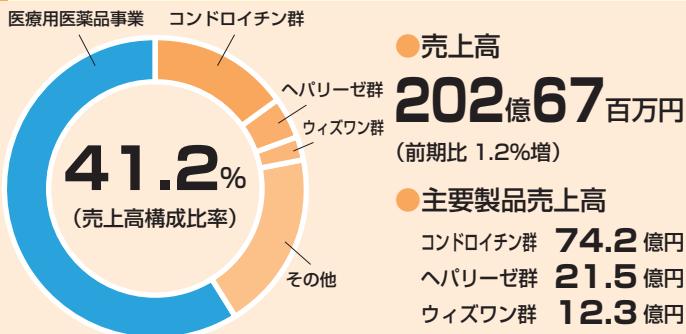


連結売上高

医療用医薬品事業



コンシューマーヘルスケア事業



当事業におきましては、超高齢社会が進展する中、生活者のセルフメディケーションをサポートする製品の供給を通じて市場構築を進めてまいりました。

なかでも主力製品群である「コンドロイチン群」は、テレビCMおよびそれに連動した店頭販売促進活動などの効果もあり、引き続き売上を拡大いたしました。また滋養強壮剤「ヘパリーゼ®群」におきましても、当年度からテレビCMを全国的に展開したことにより

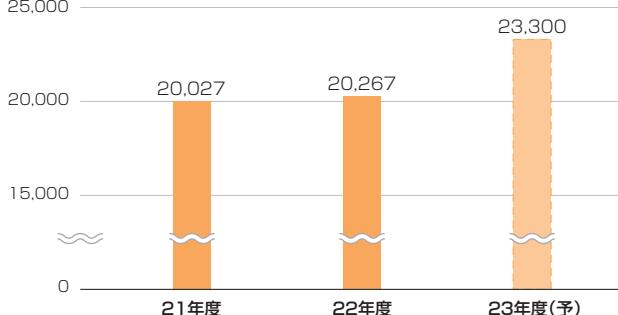
製品認知度が向上し、前期比23.5%増と売上を大きく拡大いたしました。一方で、植物性便秘薬「ウィズワン®群」等の一部の製品群は、市場競争の激化の影響を受けて苦戦いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は、202億67百万円（前期比1.2%増）となりました。



連結売上高

(単位：百万円)



研究開発の状況

研究開発部門におきましては、国際的に通用する新薬の創製を念頭に、自社オリジナル品の海外での臨床試験を積極的に推進するとともに、海外で実績のある薬剤を導入し、国内での開発を進めております。

最重点領域である消化器分野の新薬パイプライン強化に取り組む中で、Tillotts社より導入した「Z-206 (アサコール®)」は、協和発酵キリン株式会社と共同でクローン病を対象としたフェーズⅡを開始いたしました。また、Tillotts社と共同で準備を進めておりました中国での開発につきましては、潰瘍性大腸炎を対象としたフェーズⅢを開始いたしました。

日米欧三極で開発を進めております自社オリジナル品の「Z-338 (予定製品名「アコファイド®」)」につきましては、国内においてアステラス製薬株式会社と共同で実施しておりましたフェーズⅢを終了し、平成22年9月に機能性ディスペプシアを適応症として製造販売承認申請を行いました。また、欧州で実施しておりましたフェーズⅡで有効性および安全性が確認できたことから、フェーズⅢ開始に向けた準備を進めております。なお、米国におきましてもフェーズⅡを終了済みであります。

「Z-103 (プロマック®)」につきましては、味覚障害を対象とした効能追加のフェーズⅢを実施しております。また、韓国SKケミカル社 (SK Chemicals Co., Ltd.) が胃潰瘍・胃炎治療剤として韓国で承認を取得した「プロマック® 顆粒15%」につきましては、

同国内での販売開始に向けて準備をしております。

また、「ビジクリア® 配合錠」の改良製剤「Z-209」につきましては、平成22年12月に製造販売承認を取得し、平成23年1月に販売を開始いたしました。

「Z-100 (アンサー®)」につきましては、子宮頸癌に対する追加フェーズⅢを引き続き進めております。

「Z-360」につきましては、欧州において膀胱癌に対するフェーズⅠb/Ⅱaを終了し、フェーズⅡ開始に向けた準備を進めております。テムリック株式会社より導入した肝細胞癌用剤「Z-208」は、フェーズⅠ/Ⅱを引き続き進めております。

独立行政法人科学技術振興機構の開発委託を受けたアレルギー性鼻炎治療剤「Z-207」は、フェーズⅡを開始いたしました。

さらに、厚生労働省・未承認薬使用問題検討会議において開発支援対象として採択された、原発性低リン血症性くる病を対象とする経口リン酸塩製剤「Z-521」は、フェーズⅢを開始いたしました。

コンシューマーヘルスケア製品につきましては、Tillotts社より導入した「コルペルミン」をはじめ西洋ハーブ製剤の開発を進めるとともに、新製品を順次発売いたしました。

なお、当連結会計年度の研究開発費は、「Z-338 (予定製品名「アコファイド®」)」の国内におけるフェーズⅢが終了したことを受け、52億81百万円 (前期比10.0%減) となりました。

研究開発パイプライン

当社における新薬のパイプラインは国内外を合わせて12テーマです。

● 研究開発の状況

I. 国内開発状況

1) 消化器系分野

(平成23年5月17日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
申請中	Z-338/ アコチアミド	共同開発 (アステラス製薬)	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品 予定製品名 アコファイド®
フェーズⅢ	Z-103/ ポラプレジンク	自社	味覚障害 プロマック® 効能追加	亜鉛補充	導入品
フェーズⅠ/Ⅱ	Z-208/ タミバロテン	共同開発 (テムリック)	肝細胞癌	レチノイン酸RAR α 受容体作動作用	導入品
フェーズⅡ	Z-206/ メサラジン	共同開発 (協和発酵キリン)	クローン病 アサコール® 効能追加	pH依存型放出調整製剤	自社 (Gr) 品

2) その他の分野

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
フェーズⅢ 追加試験	Z-100	自社	子宮頸癌 アンサー® 効能追加	免疫調節作用	自社品
フェーズⅢ	Z-521	自社	低リン血症性くる病	リン酸補充 未承認薬開発支援対象	自社品
フェーズⅡ	Z-207	自社	アレルギー性鼻炎	粘膜組織凝固・収縮作用 エタノール・ステロイド配合剤	導入品

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
承認 (韓国)	Z-103/ ポラプレジンク	導出 (SK Chemicals)	胃炎・胃潰瘍 プロマック®	胃粘膜保護作用	導入品
フェーズⅢ (中国)	Z-206/ メサラジン	共同開発 (Tillotts Pharma)	潰瘍性大腸炎 アサコール®	pH依存型放出調整製剤	自社 (Gr) 品
フェーズⅢ 準備中 (欧州)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ 終了 (北米)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ 準備中 (欧州)	Z-360	自社	脾臓癌	ガストリンCCK $_2$ 受容体拮抗作用	自社品

自社 (Gr) 品：自社グループオリジナル品

フェーズⅠ (第Ⅰ相臨床試験)

動物実験を終えて効き目 (有効性) と毒性が確認された「薬の候補」は、少数数の健康な方を対象に試験されます。安全性はもとより、どのくらいの時間で体内に吸収され、どのくらい体外へ排泄されるのかを調べます。

フェーズⅡ (第Ⅱ相臨床試験)

第Ⅰ相臨床試験で安全性が確認されたら、少数の患者さんで「薬の候補」の効き目 (有効性)、副作用 (安全性)、投与量、投与方法などの適切な使用方法を*プラセボと比較しながら調べます。

フェーズⅢ (第Ⅲ相臨床試験)

多数の患者さんに投与することで、「薬の候補」の最終的な効き目 (有効性)、副作用 (安全性)、および使用方法を調べます。その際、「薬の候補」と現在使われている他の薬あるいは、*プラセボと比較する試験を行います。多くの場合二重盲検比較試験と呼ばれる厳密な方法で実施されます。

ご参考

* プラセボ 有効成分を含まず、外見や味などで「薬の候補」と区別がつかない偽薬

● 生産物流の状況

生産物流部門におきましては、品質の確保を第一として業務を進めてまいりました。なかでも、生産関連部門では、より高い品質の確保を目指すとともに原価の低減をメインテーマとして業務を進めてまいりました。一方、物流関連部門では、物流業務のアウトソーシングを実施する中、さらなる業務の効率化とコストの低減に努めてまいりました。

また、Biofac Es社を子会社化したことにより、当社の主力製品群である「コンドロイチン群」の成長戦略に欠かせない高品質のコンドロイチン原料を安定的に調達することが可能となりました。さらに、同社の子会社化により当社企業グループは国内3工場、海外2工場の生産体制となりました。

なお、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、当社筑波工場（茨城県牛久市）の一部建物・設備が被害を受けたため、同工場の操業を一時停止しておりましたが、震災後直ちに復旧作業に着手した結果、平成23年4月2日に生産活動を再開いたしました。

● クローズアップ

「11月13日は“いいひざの日”」

11月13日は、“いいひざの日”です。平成19年に、ひざ関節痛の治療や予防を広く呼びかけ、ひざ健康への関心や理解を促進するために当社が制定し、日本記念日協会により認定されました。以来、11月13日に“ひざ女王”の選出や、当社コンドロイチンZ S錠[®]のイメージタレントの石原良純さんと生活者の皆様との健康を祈願した階段登りなどの啓蒙イベントを行ってまいりました。昨年は、「ひざが健康だと人生がもっと楽しくなる」をメインテーマに、オリンピック女子マラソンメダル保持者の有森裕子さんと、マラソンが趣味で今年の東京マラソンも走った石原良純さんとの新聞での対談を企画いたしました。当社は、今後も“いいひざの日”を通じて生活者の皆様にひざの重要性を啓蒙してまいります。



● 次期の見通し

平成24年3月期（平成23年度）の連結業績予測につきましては、売上高545億円（前期比10.1%増）、営業利益35億円（前期比5.7%増）、経常利益35億円（前期比10.8%増）、当期純利益22億50百万円（前期比22.1%増）となる見込みです。

売上高

医療用医薬品事業におきましては、潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール[®]」が国内においては平成23年1月より長期処方が可能となったことにより、大幅な売上拡大を見込んでおります。また海外においても、引き続き同剤の売上伸長を見込んでおります。

コンシューマーヘルスケア事業におきましては、前年度に引き続き「コンドロイチン群」や「ヘパリーゼ[®]群」等の主力製品群で積極的な広告展開を予定しており、ゼリアブランドの認知度向上とともに売上拡大を見込んでおります。

これらの結果、売上高におきましては当期に比べて増収を予想しております。

利益

利益面におきましては、収益性の高い製品の売上高の増加が見込まれることから、営業利益、経常利益、当期純利益ともに当期に比べて増益を予想しております。

	第57期	第58期（予測）
売上高	494億82百万円 （前期比2.5%減）	545億円 （前期比10.1%増）
営業利益	33億11百万円 （前期比109.0%増）	35億円 （前期比5.7%増）
経常利益	31億58百万円 （前期比115.2%増）	35億円 （前期比10.8%増）
当期純利益	18億42百万円 （前期比83.9%増）	22億50百万円 （前期比22.1%増）

株主様ご優待のお知らせ

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待制を行っており、5つのコースから、ご希望のいずれかをお届けいたします。ご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

A
コース

環境にやさしく利便性に優れたアルミ缶入りドリンク
『アルミ缶入りドリンク詰め合わせ』



B
コース

健康飲料
『コンドロビー®
濃縮液 潤甦®
(じゅんこう)』



C
コース

栄養補助食品・化粧品
『コンドロマックス®・アポスティ®セット』



D
コース

コンドロイチン配合
夜間集中美容液
(化粧品)
『ZZ:CC®
(ジージー・シーシー)
アドソープ
エッセンス』



E
コース

上質なうるおいを実感する3品目
『IONAベーシックスキンケア3点セット』



第7次中期経営計画

当社グループは、平成23年度を起点とする3カ年の第7次中期経営計画（平成23年度～平成25年度）をスタートさせ、平成23年5月27日に開催されました「2010年度（2011年3月期）決算説明会」で発表いたしました。

本計画では、この3カ年を「グローバル企業としての基盤づくり」と位置付け、下記の具体的目標の達成を目指します。

《グローバル企業としての基盤づくり》

- 連結売上高伸率 年10%以上の成長
- 連結売上高 665億円
- 対売上高純利益率 5%
- 連結海外売上高比率 15%

この目標を達成するための主要課題は、以下の通りです。

1. 「アサコール®」の売上拡大

国内では、共同販売先の協和発酵キリン株式会社と連携して、市場シェア50%の獲得を目指します。また、海外では引き続きTillotts社の自販地域の強化・拡大により、売上伸長を図ってまいります。

2. Z-338(予定製品名「アコファイド®」)

現在、国内で医薬品製造販売承認申請中の機能性ディスプレイアジア治療剤Z-338の早期承認取得・上市により市場構築を推進いたします。さらに、欧米でも早急にパートナーを選定して開発を推進し、欧州での販売に関しては、「アサコール®」に次ぐ主力品としてTillotts社にも役割を持たせ、グローバル展開を目指します。



2010年度（2011年3月期）決算説明会

3. コンドロイチン製品群の拡充とコンドロイチン事業の拡大

Biofac Es社の買収により、高品質なコンドロイチン原料の安定調達が可能となったことにより、コンドロイチン製品のバリエーションを拡充するとともに、国内外でのコンドロイチン事業の拡大を目指します。

4. 第2のナショナルブランド品の育成

コンシューマーヘルスケア事業で、コンドロイチンに続く新たなナショナルブランド品を育成し、業界内での地位向上を図ってまいります。

「アサコール®錠400mg」発売一周年記念講演会

本年1月、「アサコール®錠400mg」発売一周年記念講演会が開催されました。昨年の発売記念講演会と同様に、全国から下部消化管専門医など約500名が参加され、潰瘍性大腸炎治療の世界的権威であるHanauer教授（シカゴ大学）の特別講演とパネルディスカッションが行われました。その中で、投薬期間制限が解除されたことから、今後、「アサコール®錠400mg」が潰瘍性大腸炎の第一選択薬として治療に大きく貢献していくであろうとの高い評価をいただくなど、世界トップブランドの治療剤として、臨床の場での期待の言葉を多数いただきました。



Z-338（予定製品名「アコファイド®」）DDW2011で発表

本年5月、米国シカゴで開催されました消化器関連では世界最大級の学会である米国消化器病週間（DDW2011）において、機能的ディスペプシア治療剤Z-338に関する国内フェーズⅢ試験および欧州フェーズⅡ試験の結果ならびに非臨床薬理試験結果など7演題を発表いたしました。特に、国内フェーズⅢ二重盲検比較試験の発表は、大きな注目を集めました。DDW2011の国際委員会が本年新たに設けた、日本発・消化器領域における最先端の優れた研究として日本語発表による特別シンポジウム6演題の一つにも選ばれました。いずれの発表においても参加者の関心は高く、機能的消化管障害の最新の国際的診断基準であるローマⅢ基準による、世界初の機能的ディスペプシア治療剤として、大きな期待が寄せられました。



「コンドロイチンZS錠®」テレビCM第4弾

本年6月8日より、タレントで気象予報士の石原良純さんを起用した、関節痛・腰痛治療剤「コンドロイチンZS錠®」のテレビCM第4弾の放映を全国で開始いたしました。石原良純さんを起用した「コンドロイチンZS錠®」のテレビCMは、今年で4年目を迎え、過去の3作品同様、「階段」をテーマにしています。今回は、京都の清水寺に向かう三年坂を舞台に、石原良純さんが舞妓さんとともにお元気レポートをしながら、テンポよくコンドロイチンの効果を説明します。「コンドロイチン1,560mg配合（1日量）」を訴求ポイントに、「ひび・こしラクチン コンドロイチン♪」と言う定番サウンドロゴに石原さん・舞妓さんのユーモラスな振り付けを組み合わせ、好感度の高い微笑ましい作品になっています。



なお、テレビCMは、当社ホームページ（<http://www.zeria.co.jp/>）でご覧いただけます。

財務諸表（連結）

連結貸借対照表（要旨）

科 目	期 別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成22年3月31日現在	平成23年3月31日現在
【資産の部】			
流動資産		26,161	25,167
現金及び預金		3,574	4,949
受取手形及び売掛金		13,155	12,309
たな卸資産		6,209	5,234
繰延税金資産		678	734
その他		2,584	1,966
貸倒引当金		△40	△27
固定資産		44,809	48,611
有形固定資産		20,700	21,537
建物及び構築物		6,431	6,694
機械装置及び運搬具		2,962	2,933
土地		11,039	11,563
建設仮勘定		3	66
その他		265	278
無形固定資産		11,627	13,929
投資その他の資産		12,481	13,143
投資有価証券		7,161	8,499
繰延税金資産		1,231	1,391
その他		4,163	3,318
貸倒引当金		△75	△65
資産合計		70,971	73,779

（単位：百万円、端数切捨て）

科 目	期 別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成22年3月31日現在	平成23年3月31日現在
【負債の部】			
流動負債		35,892	29,989
支払手形及び買掛金		5,129	3,364
短期借入金		24,706	19,943
その他		6,056	6,681
固定負債		7,083	15,365
社債		1,400	200
長期借入金		4,768	14,381
退職給付引当金		173	177
資産除去債務		－	71
その他		741	534
負債合計		42,976	45,355
【純資産の部】			
株主資本		29,235	30,361
資本金		6,593	6,593
資本剰余金		5,414	5,414
利益剰余金		24,517	25,656
自己株式		△7,290	△7,303
その他の包括利益累計額		△1,239	△2,040
その他有価証券評価差額金		△1,287	△2,037
繰延ヘッジ損益		5	15
為替換算調整勘定		41	△17
少数株主持分		－	102
純資産合計		27,995	28,423
負債・純資産合計		70,971	73,779

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで	平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
売上高		50,745	49,482
売上原価		23,300	18,442
売上総利益		27,444	31,039
返品調整引当金戻入額		186	169
返品調整引当金繰入額		169	137
差引売上総利益		27,461	31,072
販売費及び一般管理費		25,876	27,760
営業利益		1,584	3,311
営業外収益		284	478
営業外費用		400	631
経常利益		1,467	3,158
特別利益		416	26
特別損失		315	422
税金等調整前当期純利益		1,568	2,762
法人税、住民税及び事業税		825	1,146
法人税等調整額		△259	△217
少数株主損益調整前当期純利益		—	1,834
少数株主損失（△）		—	△8
当期純利益		1,001	1,842

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで	平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		5,858	5,847
投資活動によるキャッシュ・フロー		△15,479	△7,292
財務活動によるキャッシュ・フロー		10,373	2,838
現金及び現金同等物に係る換算差額		19	△18
現金及び現金同等物の増加額		771	1,375
現金及び現金同等物の期首残高		2,670	3,442
現金及び現金同等物の期末残高		3,442	4,817

連結株主資本等変動計算書（要旨）

（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）

（単位：百万円、端数切捨て）

	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計		
平成22年3月31日残高	6,593	5,414	24,517	△7,290	29,235	△1,287	5	41	△1,239	—	27,995
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△703		△703						△703
当期純利益			1,842		1,842						1,842
自己株式の取得				△12	△12						△12
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額（純額）						△750	9	△59	△800	102	△698
連結会計年度中の変動額合計	—	—	1,139	△12	1,126	△750	9	△59	△800	102	428
平成23年3月31日残高	6,593	5,414	25,656	△7,303	30,361	△2,037	15	△17	△2,040	102	28,423

会社情報

(平成23年3月31日現在)

会社概要

創 立	1955年12月
資 本 金	6,593,398,500円
社 員 数	1,287名(連結)
主な事業内容	1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、販売及び輸出入 2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、衛生雑貨、医療機器の製造、販売及び輸出入

役員

(平成23年6月29日現在)

代表取締役社長	伊 部 幸 顕
専務取締役	斎 藤 武
専務取締役	遠 藤 広 和
専務取締役	降 旗 繁 弥
常務取締役	多 胡 充 弘
常務取締役	菅 幹 雄
常務取締役	森 山 茂
取 締 役	大 野 晃
取 締 役	永 谷 康 典
取 締 役	小 野 宏
取 締 役	岸 本 誠
取 締 役	平 賀 義 裕
取 締 役	橋 本 暢 仁
取 締 役	石 井 克 幸
取 締 役	加 藤 博 樹
取 締 役	横 手 秀 和
常勤監査役	花 田 雅 彦
常勤監査役	高 見 幸 二 郎
監 査 役	小 森 哲 夫
監 査 役	中 由 規 子

事業所

● 本社	● 京滋北陸営業所
● 札幌支店	● 中四国支店
● 仙台支店	● 岡山営業所
● 東京支店	● 高松営業所
● 東京第3営業所	● 福岡支店
● 神奈川営業所	● 中央研究所
● 埼玉営業所	● 埼玉工場
● 千葉営業所	● 筑波工場
● 北関東営業所	● 東京物流センター
● 甲信越営業所	● 札幌物流センター
● 名古屋支店	● 埼玉物流センター
● 大阪支店	● 大阪物流センター
● 大阪第2営業所	● 九州物流センター
● 神戸営業所	
● 出張所	
青森・郡山・宇都宮・関越・静岡・金沢・山口・米子・松山・高知・長崎・熊本・大分・鹿児島・沖縄	

連結子会社 5社

Tillotts Pharma AG

資 本 金 164万スイスフラン(持株比率100%)
事業内容 IBD(炎症性腸疾患)および
IBS(過敏性腸症候群)治療剤の製造・販売

ゼリアヘルスウエイ株式会社

資 本 金 85百万円(持株比率100%)
事業内容 健康食品の仕入・販売

Biofac Esbjerg A/S

資 本 金 100万デンマーククローネ(持株比率85%)
事業内容 医薬品原薬を中心としたコンドロイチン硫酸ナトリウムの製造・販売

イオナ インターナショナル株式会社

資 本 金 2億円(持株比率100%)
事業内容 化粧品・医薬部外品の製造・販売他

株式会社ゼービス

資 本 金 1億80百万円(持株比率100%)
事業内容 保険代理業・不動産業など

株式情報 (平成23年3月31日現在)

株式の状況

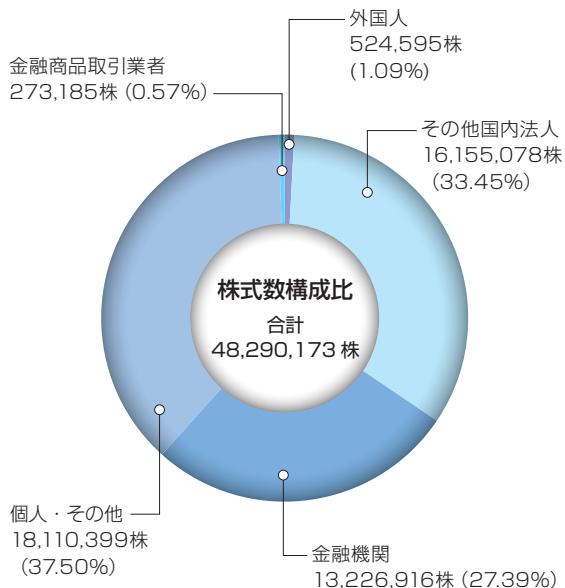
①発行可能株式総数	119,860,000株
②発行済株式総数	48,290,173株
③株主数	3,580名

大株主

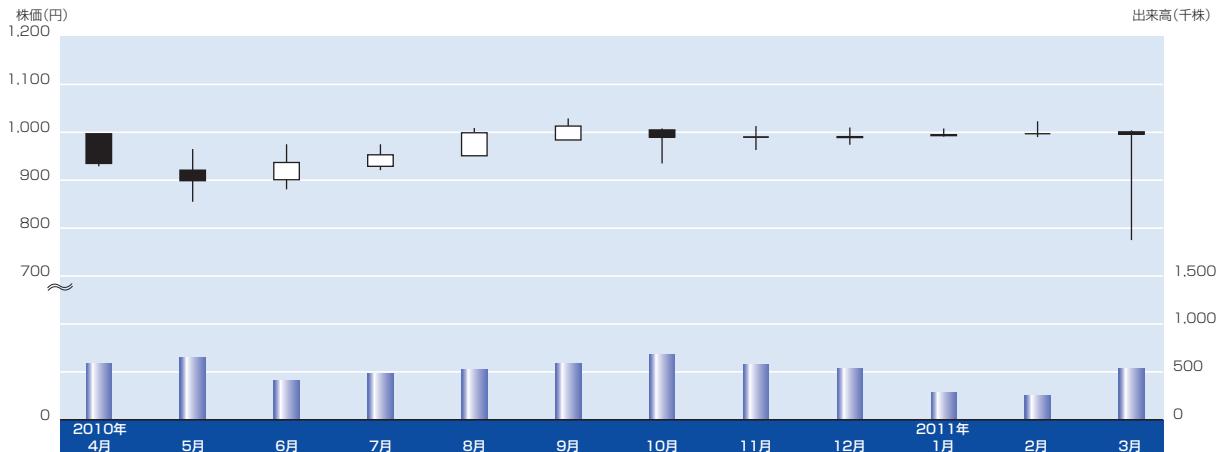
株主名	持株数(株)	出資比率(%)
有限会社伊部	5,510,770	13.3
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,915,500	4.6
森永乳業株式会社	1,854,741	4.5
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,719,000	4.2
ゼリア新薬工業従業員持株会	1,627,417	3.9
伊部幸顕	1,442,425	3.5
株式会社三井住友銀行	1,278,301	3.1
株式会社みずほ銀行	1,278,230	3.1
株式会社りそな銀行	1,074,896	2.6
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	858,691	2.1

(注) 出資比率については、自己株式(6,937,032株)を控除して算出しております。

所有者別株式分布状況



株価および出来高の推移



株主メモ

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください。

URL <http://www.zeria.co.jp/>

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
- 株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店および全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- 「配当金計算書」について
配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。



当社ではスピーディーに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-5777-3900(平日10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4559

いいかぶ

検索

Yahoo!, MSN, exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

※メールアドレスによりURL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で簿籍(図書カード500円)を贈呈させていただきます

健康づくりは幸せづくり



ゼリア新薬
ZERIA

ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11
TEL 03-3663-2351 (代表) FAX 03-3663-2352
03-3661-2080
<http://www.zeria.co.jp/>